

所 信 表 明  
並 び に  
平成25年度市政運営方針

和泉市長 辻 宏 康

## 所 信 表 明

(はじめに)

市長選挙後初の市議会にあたり、私の所信の一端を申し述べ、議員並びに市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まず、はじめに、今回の市長選挙におきまして、市民の皆様からのご信任を賜り、引き続き、2期目の市政を担わせていただくことになりました。心より厚くお礼を申し上げます。

私は市政をお預かりしたこの4年間、「有言実行」の信念のもと、議員の皆様にご協力をいただきながら、公約の実現や市政改革の取り組みを進めてまいりました。

特に、「和泉再生プラン」による行財政改革の推進や職員意識の改革を進めるとともに、和泉市土地開発公社の解散や市立病院の経営形態見直しなど、これまで「先送り」されてきた課題についても積極的に取り組んでまいりました。また、私は、タウンミーティングをはじめ、数多くの市民の皆様と対話する機会をつくり、市政に対するご意見をたくさん聞かせていただき市政に反映してまいりました。

このたびの選挙の結果は、こうした取り組みを市民の皆様にご評価いただくとともに、次の4年間も、新たな公約の実現、さらなる改革に向け「引き続き、しっかり進めて欲しい。」という、市民の皆様から私への期待や激励であると受け止めており、身の引き締まる思いであると同時に、全身に湧きあがる「やる気」という大きなエネルギーを実感しています。

新たに与えられた4年間においても、初心を忘れることなく、信頼感、躍動感、親近感の3つの「感」を信条に、市政運営に取り組んでまいりる所存ですので、引き続き、皆様方のご支援、ご協力を賜

りますようお願いいたします。

(本市の現状と課題)

国の経済情勢は若干持ち直しの兆しは見られるものの、市場の不安定感は否めず、依然として先行きは不透明であります。

本市においても、長引く不況により、個人及び事業所得の低迷や雇用環境の悪化が見られ、さらには少子高齢化の進展により、扶助費が増加する傾向も見込まれるところです。また、老朽化した道路、橋梁や公共施設などのインフラの更新が必要となるなど、本市を取り巻く行財政環境は今後一層厳しくなることが予想されます。

しかし、どのように環境が厳しく多難であろうとも、先人が築いてきたこの和泉市を、市民の皆様が安心して暮らすことのできるまちに「再生」し、次代につなげていくことが、2期目に課せられた私の使命であると肝に銘じております。

厳しい財政状況下においても、真に市民が必要とする施策を推進することはもちろんのこと、市の将来の成長に資する事業にも積極的に財源配分を行う必要があります。

そのためには、施策の選択と集中をより一層進め、限られた財源を有効に活用することを念頭に、市役所そのものを、スリムでネットワークよく、最高のパフォーマンスを常に発揮できる組織体制に変革するとともに、若手人材の積極的な登用を図るなど、行政における「ひと・もの・かね」の効率的かつ効果的な活用を図る行政運営体制の確立が急務であります。

(4つの重点項目)

こうした現状や課題の認識のもと、私がめざす方向と目標は、和泉市をさらに成長、発展させ、「大阪一、日本一住みよいまち和泉」

を実現することであり、そのキーワードは「躍進」のまちづくりです。

そのためには、まず、次の4つの分野に重点をおいて、積極果敢に取り組んでまいりたいと考えています。

- 1、「子育て支援」
- 2、「教育環境の充実」
- 3、「医療の再生と福祉の拡充」
- 4、「人事・財政の改革」です。

これまでの市民の皆様との対話のなかで、特に関心が高く、切実な要望として多かったものが、「子育て支援」、「教育」、「医療・福祉」の分野に関することです。

「子育て支援」については、和泉市の将来を担う子どもたちは、私たち、すべての市民の「宝」であり、子どもたちの健全な育成、健やかに生まれ育つ環境づくりは、市政にとって基本的かつ最も重要な使命です。

このことから、子どもの健康を守り、同時に子育て世代の負担を軽減するため、まず、こども医療費助成の拡充を行い、任期中には、入院、通院に係る医療費助成の対象年齢を、中学3年生まで拡充したいと考えています。

また、安心して働きながら子どもを育てる環境づくりを行うため、保育サービスの拡充等を図り、早期の待機児童ゼロをめざします。

次に、教育に関しては、「いじめ、不登校問題の解決」に取り組めます。

近年、学校での「いじめ」による痛ましい事件がマスコミで大きく報道され、私だけでなく、学校に通う子どもを持つ多くの保護者

が胸を痛められたことと存じます。

幸い、和泉市では、「いじめ」による重大な事件は発生しておりませんが、様々な悩みを抱え、不登校に陥っている生徒がいると報告を受けています。

「いじめ」をはじめ、様々な悩み事を抱える子どもたちやその保護者が安心して教育を受けることのできる教育環境の充実は、喫緊の課題であると考え、「(仮称)いじめ相談ホットライン」の設置をはじめ、様々な形での取り組みを進めてまいります。

また、小中一貫教育の推進は、「確かな学力を身につけた、心豊かな子ども」を育成するうえで重要な柱と考えています。教育環境の変化に戸惑う、いわゆる「中1ギャップ」の問題の解消に向けて、小学校と中学校のさらなる連携を図り、子どもたちが安心して通える学校づくりを市内全域で推進してまいります。

特に、青葉はつが野小学校、南池田中学校にあっては、昨今の周辺地域の人口増加にともなう過大規模化の解消も喫緊の課題となっており、施設一体型小中一貫校の建設を進めてまいります。

次に、「医療・福祉」分野では、まず「市民の命を守り、健康で豊かな暮らしを支える」ことを最優先に、市立病院改革を市政の最重要課題として取り組んでまいります。

昨年11月の「和泉市立病院のあり方検討委員会」の答申をもとに、私は救急診療の再開、市立病院の再生を最重点に、指定管理者制度の導入による市立病院の再生をめざすという、重大な政治的決断を行ってまいりました。市議会においても病院問題特別委員会を設置していただき、慎重かつ活発なご審議の末、関連議案をご可決いただきました。心より感謝申し上げます。

今年度は病院指定管理者の選定を行い、平成26年度から新たな経営形態のもと、早期の救急診療の再開をめざすとともに、新病院の

建設に向けて全力を注ぎ、地域医療の再生を確実に実現してまいります。

次に、「人事・財政改革」の取り組みです。

この4年間、私は、全職員の意識改革を和泉再生の柱のひとつと捉え、人事評価及び勤務評定制、昇任考査の導入など、様々な人事制度の改革を行ってまいりました。

この人事制度改革をさらに発展させ、さらなる人事制度改革として、若手職員の登用をはじめとした「がんばる者が報われる」仕組みを充実するなど、「年功序列型から能力主義型」への転換を図ってまいります。

また、私は、1期目の市長就任後、行財政計画として「和泉再生プラン」を策定し、様々な取り組みを着実に進め、財政健全化に取り組んでまいりました。

今後は、「和泉再生プラン」の策定以降に発生した課題の解決や市長選挙で掲げた公約の実現に向けた検討を進めるため、「和泉再生プラン」の後継計画として、和泉市の「再生」から「躍進」へとつなげる新たな行財政計画を策定します。

このプランでは、事務事業の見直しや定数及び給与の適正化による総人件費の10%削減など、さらなる行財政改革の取り組みのほか、市内産業の振興や地域整備など、和泉市が将来、発展するためのまちづくりビジョンを策定し、和泉市の未来を描く「第5次和泉市総合計画」につなげてまいります。

(結びに)

以上が、私の2期目でめざす市政に関する所信の一端であります。

今後の4年間で、和泉市の「再生」から「躍進」への架け橋となり、市議会をはじめ、市民の皆様、「大阪一、日本一住みよいまち

和泉」を実感していただけるよう、全身全霊を捧げてまいります。

私はこれからも改革マインドを失うことなく、「有言実行」の信念のもと、市長として、より一層リーダーシップを発揮するとともに、職員と一丸となって、市民福祉の向上と市政の発展に取り組んでまいりますので、変わらぬ皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 平成 25 年度 市政運営方針

続きまして、平成 25 年度の市政運営の基本方針とその概要につきまして、今般、補正予算（案）で措置しました施策と、当初予算で計上した新規施策または拡充した施策を中心に、ご説明いたします。

### 【平成 25 年度当初予算及び補正予算（案）の概要】

平成 25 年度当初予算においては、私の公約であった市民税の減税及び水道料金の減額に係る予算を計上し、「市民生活への支援」を目的として、平成 25 年度個人市民税の 5 % 減税を実施、さらに水道料金につきましても、現行の 4 % 減額を、平成 25 年 5 月検針分から 8 % の減額を実施しています。

いずれも、公約であった 10%には及ばないものの、財政状況の許す範囲において、市民との約束である公約を一定実現することができました。

これも市議会でのご審議のもと、議員の皆様のご理解の賜物と、心より感謝申し上げます。

その他、「子育て環境の充実」に関しましては、こども医療費助成の拡充やエンゼルハウスの新設などに取り組み、「災害に強い安全なまちづくり」については、小中学校の耐震化率 100%の達成や消防署南分署の整備、さらに、「活気あるまちづくり」については、JR 和泉府中駅前市街地再開発事業の推進や産業振興プラザの開設、（仮称）和泉市北部リージョンセンターの整備などの予算を計上しています。

今議会に提出しております補正予算（案）については、いわゆる

「肉付け予算」として、「教育環境の充実」や「子育て支援」をはじめ、「安全安心の確保」や「産業振興」に資する施策などを計上しています。

また、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的に国から交付される「地域の元気臨時交付金」については、はつが野地区における小中一貫校の設計費や市民体育館の改修工事などに活用するとともに、特例基金を設置し、今後、各種の事業に活用してまいりたいと考えています。

次に、新たな事業、拡充した事業を中心に第4次和泉市総合計画の体系に沿って、順次その概要をご説明いたします。

## 1. みんなの力を生かし地域が活性化するまち

### (行政経営の仕組みづくり)

庁舎の耐震改修計画にともなう耐震補強工法等の検討を進めるとともに、執務室の効率的な移設計画を策定します。

効率的・効果的な行政運営に資するべく、外部有識者で構成する和泉市外部評価委員会を開催し、事務事業のスクラップアンドビルドにつなげてまいります。

和泉市信太山丘陵市有地のあり方については、里山的環境と生物多様性を公民協働で守り育てていくことができるよう、市民参加による「ワークショップ」を開催し、整備方針や管理運営などをとりまとめ、「(仮称)和泉市信太山丘陵市有地基本構想」を策定します。

### (協働社会・地域コミュニティの仕組みづくり)

北部地域の交流拠点として整備を進めている(仮称)和泉市北部リージョンセンターについて、平成26年度中の完成に向け、工

事に着手します。

南部地域の交流拠点である南部リージョンセンターにおいて、市や指定管理者及び地域住民が協働でイベントなどを開催し、道の駅の賑わい創出や南部地域の活性化に取り組みます。

平成 25 年度にすべての防犯灯を L E D 化し、市民が安心して暮らすことができる防犯対策並びに電力の節減及び低炭素社会の実現に努めます。

各町会・自治会、市、教育委員会が連携して、毎月 11 日に市内全域で積極的に「あいさつ」や「声かけ」を行う「いずみあいさつ運動」を展開し、コミュニティの活性化につなげます。

#### (行政内部管理の仕組みづくり)

主任・係長級の昇任考査の導入や昇任年齢の引下げを行うなど、年功序列型から能力主義型の人事制度への移行を進めてきましたが、さらに管理職への昇任考査の導入を検討し、若くても「やる気」と「能力」を備えた職員を登用するなど、意欲と活気あふれる組織づくりを進めます。

人事評価及び勤務評定の結果を人事や給与に反映するなどによって、がんばる者が報われるとともに、職員一人ひとりが持つ力を最大限発揮できる人事制度と職場環境の整備に努めます。

決裁事務の迅速化、文書整理の効率化及び紙資源の節減を目的に、電子決裁・文書管理システムの導入に取り組みます。

## 2. 多世代が豊かな心を育む学びのまち

#### (出産・子育て環境づくり)

和泉中央丘陵周辺における保育所入所待機児童の解消と今後の住宅開発に伴う子育て世帯の増加に対応するため、平成 27 年 4

月の開園をめざし、はつが野地区で保育所の新設に取り組みます。障がいや発達に心配のある子どもとその保護者が、身近な地域で質の高い支援を受けられるよう、(仮称)和泉市児童発達支援センターの開設に向け、検討を進めます。

民間保育所である(仮称)南池田総合保育園の平成26年4月開園を支援し、待機児童の解消に努めます。

子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項を調査審議するため、こども・子育て会議を設置します。

就園前の在宅の子育て家庭を支援するため、南池田中学校区にエンゼルハウスを開設します。

こども医療費助成について、通院助成は小学3年生まで、入院助成は中学3年生まで拡充します。

妊婦の歯科保健の向上のため、妊婦歯科検診を実施します。

#### (学校教育環境づくり)

「確かな学力を身につけた、心豊かな子ども」を育成するため、義務教育9年間を見通した継続的かつ一貫性のある教育を推進する小中一貫教育の取り組みを進めます。

はつが野地区の開発にともなう青葉はつが野小学校及び南池田中学校の過大規模化の解消や小中一貫教育推進の観点から、施設一体型の小中一貫校建設のため、設計業務に着手します。

中学3年生の授業時数確保のため、夏休み中に授業を実施している中学3年生の普通教室に空調設備を設置し、良好な教育環境を確保します。

平成25年度中に小中学校・幼稚園の建物の耐震化率100%を達成します。

老朽化した北池田小学校のプールの改築とあわせて、新たに更衣室やトイレの設置などを行い、衛生管理の充実を図ります。

給食施設については、中学校から年次的にドライ化やその他の改修を行います。

児童・生徒の不登校や問題行動等の解決のため、学校と福祉部門の連携を図るスクールソーシャルワーカーの配置を1名から2名に増員します。

英語教育を推進するため、中学3年生を対象に、日本英語検定協会の「英語検定」3級以上を受検する生徒の検定料を全額負担します。

#### (歴史文化・芸術環境づくり)

市民の郷土愛が育まれるよう、市史編さん事業を推進し、「和泉の国」の成立過程や他地域との交流など、和泉市の豊かで多面的な姿を描き出す「和泉市の歴史」全9巻の刊行に取り組みます。

#### (生涯学習・スポーツ環境づくり)

本年2月に策定した「第2次和泉市生涯学習推進プラン」に基づき、多様化する市民ニーズに対応した各種事業を展開します。

「知の循環型社会」を構築するため、総合的な学習の場となる(仮称)生涯学習大学の設置について検討します。

本年3月に策定した「和泉市スポーツ推進基本計画」に基づき、市民、地域、学校、企業、スポーツ団体と連携し、スポーツ施策を推進します。

市内スポーツ施設の充実を図るため、元大阪府立横山高等学校跡地を整備するための基本計画を策定します。

スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を

調査審議するため、スポーツ推進審議会を設置します。

### 3. 生涯を通じて健康でいきいきと生活できるまち

#### (健康・医療環境づくり)

市立病院においては、平成 26 年 4 月からの指定管理者制度の導入に向けて取り組み、救急医療の再開をめざします。

将来にわたって、患者・市民、医療者にとって、安全で魅力ある病院となるよう、平成 30 年を目途に新病院の建設に取り組みます。

市民一人ひとりが健康づくりに積極的に取り組むための指針として、「(仮称)第 2 次健康都市いずみ 21 計画」を策定し、市民の総合的な健康づくりを推進します。

#### (高齢者・障がい者福祉環境づくり)

地域社会のつながりを再構築し、相互に支えあう体制を実現するため、第 3 次和泉市地域福祉計画を策定します。

障がい者への相談体制をさらに強化するため、基幹相談支援センターの設置をめざし、検討を進めます。

#### (社会保険・社会扶助などの社会保障環境づくり)

民間の人材派遣会社のノウハウを活用し、稼働年齢の生活保護受給者に対して、就労意欲の喚起、スキルの習得を中心とした生活保護受給者就労支援事業を行い、自立助長を促進します。

### 4. 市民が安全で安心して暮らせるまち

#### (防火・防災体制づくり)

東日本大震災での経験や近年の研究成果を取り入れた新たな地

域防災計画の策定に取り組み、さらなる「災害に強い安全なまちづくり」を推進します。

災害時、緊急時に早期かつ的確な情報提供手段の一つとして、広範囲な地域に音声で情報提供ができる同報系防災行政無線を整備します。

常備消防力等適正配置計画に基づき、南部地域の消防救急防災体制を強化するため、南分署の新築工事に着手します。

災害時に、配水池等の貯水施設から距離のある避難所において飲用水を確保するため、耐震性緊急貯水槽増設の設計業務に着手します。

災害時などの住民への早期の情報提供の手段として、地震、津波などの緊急情報や気象警報を発信するJ-アラートの情報をメールや電話、FAXなどで受信できるシステムを構築します。

洪水時の円滑かつ迅速な避難と水害による被害の軽減を図るため、新たに洪水ハザードマップを作成し、市民に配布します。

高規格救急車を開署予定の南分署に配置し、増加する救急需要への対応と救命率の向上に努めます。

#### (住環境づくり)

権限移譲を受けた市街化調整区域における開発行為の許可等について、地域の実情や課題を踏まえ、効果的かつ的確な運用に努めます。

耐震改修関連補助制度を広く周知し、さらなる民間建築物の耐震化を促します。

和泉市営住宅長寿命化計画に基づき、老朽化した木造住宅の建て替えを進めるため、唐国住宅他建替事業基本計画を策定します。

( 適正な土地利用環境づくり )

本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来や、社会経済情勢の変化を踏まえ、「持続可能な社会の実現」、「安全と安心の確保」、「経済活性化」等をめざすための指針である「和泉市都市計画マスタープラン」の改正に取り組みます。

( 公園・緑地環境づくり )

公民協働による植樹活動を展開する「いずみいのちの森事業」については、「森づくりから人づくり、そしてまちづくりへ」をテーマに、環境にやさしい緑豊かで潤いのあるまちづくりをめざして、さらなる推進を図ります。

黒鳥山公園、松尾寺公園については、駐車場整備やアプローチ道路の整備により、市民の利用促進を図ります。

トリヴェール和泉西部地区で、都市再生機構が整備する近隣公園「いおり公園」の早期開設に向けて、同機構と調整します。

( 道路・交通安全環境づくり )

今後、老朽化する橋梁が急速に増大することから、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへと転換を図り、安全性の向上及びコストの縮減に取り組みます。車道が狭小で車の対向ができず、橋梁自体の老朽化も著しい繁和橋の安全な交通環境を確保するため、橋梁架替事業の実施設計に着手します。

通学児童の安全を守るため、通学路で歩道の設置が難しい道路の端にグリーンベルトの設置を進めます。

#### (水道利用環境づくり)

安全で安心な水を安定的に供給するため、主要幹線となる管路の耐震化を積極的に進めます。

はつが野配水場 2 号配水池及び配水塔について、今年度中の完成をめざします。

南部地域への水の運用強化や安定給水を図るため、(仮称)仏並配水場の本体工事に着手します。

### 5. だれもが環境にやさしい生活を営んでいるまち

#### (自然環境保全・活用の仕組みづくり)

和泉市環境基本計画に基づき、和泉市全域を対象とした自然環境調査を今後 5 年間で実施します。

#### (水辺環境・下水道利用環境づくり)

公共下水道計画区域外での効率的、効果的な生活排水処理に取り組むため、PFI を含めた事業手法の検討を進めます。

市民に衛生的で快適な暮らしを提供するため、市街化区域内の公共下水道未整備地区の整備を進めるとともに、生活環境の改善や河川等の公共用水域の水質保全など、水環境の向上を図るため、下水道計画区域内の市街化調整区域において事業実施に取り組みます。

### 6. 個性を生かした産業と働く人々の活気のあるまち

#### (都心の賑わい環境づくり)

和泉府中駅前再開発事業について、駅前広場や歩行者デッキなどの整備を進め、和泉市の「玄関」に相応しい駅前の環境整備を行います。

#### ( 商工観光業の活力環境づくり )

「産業振興プラザ」を開設し、ものづくり事業者に対して、産・学・官の連携による研究開発の機会・場所を提供するとともに、新規事業創出、経営革新、販路開拓等の支援を行います。

観光情報ステーション事業を旅行事業者等に委託し、民間のノウハウを活かした効果的な来訪促進を図ります。

現在の和泉府中駅前商店街内の観光情報ステーションを新しい駅前広場前に移設・建設するため、基本・実施設計に着手し、平成 27 年春の開所をめざします。

和泉府中地区をはじめ、市内商店街の活性化に資するため、チャレンジショップやコミュニティスペースの設置、こだわりの逸品開発や店舗経営改革などの支援を行います。

#### ( 農林業の活力環境づくり )

地産地消の理念に基づき、地元農産物の消費拡大を推進するため、食農教育や農林業祭など各種イベントでの啓発に取り組みます。和泉市内産木材の利用拡大を図るため、「いずもくプロジェクト」を展開し、木の良さや使用事例を積極的に P R し、木材利用意欲の向上、地域ブランド化を推進します。

森林経営計画の策定を支援し、和泉市内産木材の安定供給を図り、市内産木材の利用を促進します。

#### ( 雇用・就労環境づくり )

厳しい雇用情勢の中において、就労の促進と雇用の安定を図るため、無料職業紹介事業のさらなる展開や若年者の就労支援などの施策を盛り込んだ、「第 2 次和泉市就労支援計画」を策定し

ます。

若年層の不安定な雇用が社会問題化していることを受け、若者への支援に特化した、各種セミナーや職場実習等を行い、就労の促進を図ります。

## 7. すべての人が個人として輝き人権が尊重されるまち

人権文化豊かな社会づくりにおいては、多様化する人権課題を理解し、認識を深めるための研修を実施するとともに、男女共同参画社会づくりにおいては、次期和泉市男女共同参画行動計画の策定に取り組みます。

(結びに)

以上で、所信の表明及び本年度の市政運営の概要とさせていただきます。議員並びに市民の皆様におかれましては、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。